

●刊行に寄せて

柴田元幸

最良の選者たちが、この上なくしなやかな発想でテーマを定め、ほんとうに面白い話を選び抜いている。まさに「文学の森」と呼ばれるにふさわしい物語群。

●編者より

さすがモーパッサン、彼の作品を読んでいたら、あるべきところに毛が生えたのだ。妹よ、黒髪の色あせぬ間に、この文薬を読んでくれないか、ここにとりだしたのは、口には苦い悪の華だが、まず恋の痛みに効くはずだ。

安野光雅

ほくだって文学少年してたことがあるのよ、と証明したくて「文学の森」。青春プレイバックしています。珍味そろえた、グルメ向きのヌーベル・キュイジーヌ。教科書風名物料理でないところが、かっこいいでしょ。

森毅

この森はふしぎな森だ。ここを通り抜けると、心はしなやかな強さとイキイキした張りをもち、生きてゆくのがずいぶん楽になる。だから他人に教えてはソンだ。この森のありかは仲間にしか教えまい。他人には秘密だ。

井上ひさし

美術館の名画の前には、こんな注意書があるものです。「どうかお手を触れないで下さい！」文学の森の女神たちは、そんな邪悪なことは言わないのではなかろうか。ホラ、ささやきがする。「どうかお手を触れて下さい！」

池内紀

編集協力 安野光雅・池内紀・井上ひさし・森毅

装幀・装画 安野光雅



●シリーズの特色●

- * 1988年より刊行し好評を博した「ちくま文学の森」(全16巻)から10巻を選び、装いも新たに文庫版で刊行。
- * 古今東西の作品からテーマ別に選りすぐった、とておきのアンソロジー。
- * 小説はもとより、エッセイ、紀行、戯曲から落語、漫才、浪曲まで、ことばで表現されたあらゆるジャンルから、おもしろいものだけをセレクト。
- * 注やルビを充実させ、読みやすいように便宜をはかった。
- * 安野光雅氏による美しく親しみやすい装画とブックデザイン。

文庫サイズ・本文平均560頁・各巻予価1050~1260円(税込み)・全10巻

'10年9月上旬 第一回発売、1巻・2巻
以降、毎月1点ずつ刊行

人生の木は繁り 恋の花は実をつける 森には物語が棲んでいる

筑摩書房

筑摩書房サービスセンターへ

TEL 048(651)0053 FAX 048(666)4648

ちくま文学の森 全10巻*全巻内容

I 美しい恋の物語

初恋 島崎藤村／燃ゆる頬 堀辰雄／初恋 尾崎翠／柳の木の下で アンデルセン(大畑末吉)／ラテン語学校生 ヘッセ(高橋健二)／隣の嫁 伊藤左千夫／未亡人 モーパッサン(青柳瑞穂)／エミリーの薔薇 フォークナ－(龍口直太郎)／ポルトガル文 リルケ訳(水野忠敏)／肖像画 A・ハックスリー(太田稔)／藤十郎の恋 菊池寛／ほれぐすり スタンダール(桑原武夫)／ことづけ バルザック(水野亮)／なよたけ 加藤道夫

*解説 ホテル・ヴェリエール

安野光雅

2 心洗われる話

少年の日 佐藤春夫／蜜柑 芥川龍之介／碁石を呑だ八つちゃん 有島武郎／ファーブルとデュルイ ルグロ(平野威馬雄)／最後の一葉 O・ヘンリー(大津栄一郎)／芝浜 桂三木助演／貧の意地 太宰治／聖水授与者モーパッサン(河盛好蔵)／聖母の曲芸師 A・フランス(堀口大学)／盲目のジエロニモとその兄 シュニッツラ(山本有三)／獅子の皮 モーム(田中西一郎)／闇の絵巻 梶井基次郎／三つ星の頃 野尻抱影／島守 中勘助／母を恋うる記 谷崎潤一郎／二十六夜 宮沢賢治／演をたらした神 吉野せい／たけくらべ 樋口一葉／瞼の絵

*解説 花はさかりに月はくまなきをのみ見るものかは

安野光雅

3 変身ものがたり

死なない娘 萩原朔太郎／風博士 坂口安吾／オノレ・シユブランクの失踪 アボリネール(川口篤)／壁抜け男エーメ(中村真一郎)／鼻 ゴーゴリ(平井肇)／のっぺらぼう 子母沢寛／夢応の鯉魚 上田秋成(石川淳)／魚服記 太宰治／こうのとりになつたカリフ ハウフ(高橋健二)／妖精族のむすめ ダンセイ(荒俣宏)／山月記 中島敦／高野聖 泉鏡花／死靈の恋 ゴーチエ(田辺貞之助)／マルセイユのまぼろし コクトー(清水徹)／秘密 谷崎潤一郎／人間椅子 江戸川乱歩／化粧 川端康成／お化けの世界 坪田譲治／猫町 萩原朔太郎／夢十夜 夏目漱石／東京日記抄 内田百聞

*解説 鞍馬天狗と丹下左膳

池内紀

4 おかしい話

おかし男の歌 長谷川四郎／太陽の中の女 ボンテンペルリ(岩崎純孝)／死んでいる時間 エーメ(江口清)／粉屋の話 チヨーサー(西脇順三郎)／結婚申込み チエーホフ(米川正夫)／勉強記 坂口安吾／ニコ独先生 織田作之助／いなか、の、じけん抄 夢野久作／あたま山八代目林家正蔵演／大力物語 菊池寛／怪盗と名探偵抄カラミ(吉村正一郎)／ゾツとしたくて旅に出た若者の話グリム(池内紀)／運命 ヘルタイ(徳永康元)／海草と郭公時計 T・F・ボイス(龍口直太郎)／奇跡をおこせる男 H・G・ウェルズ(阿部知二)／幸福の塩化物 ピチグリッリ(五十嵐仁)／美食俱楽部 谷崎潤一郎／ラガード大学参観記 牧野信一／本当の話抄 ルキアノス(吳茂一)

*解説 形容詞「をかし」について——岡新助講師の最後の講義

井上ひさし

5 思いがけない話

夜までは 室生犀星／改心 O・ヘンリー(大津栄一郎)／くびかざり モーパッサン(杉捷夫)／嫉妬 F・ブウテ(堀口大学)／外套 ゴーゴリ(平井肇)／煙草の害について チェーホフ(米川正夫)／パケツと網 T・F・ボイス(龍口直太郎)／エスコリエ夫人の異常な冒険 P・ルイス(小松清)／蛇含草 桂三木助演／あけたままの窓サキ(中西秀男)／魔術 芥川龍之介／押絵と旅する男江戸川乱歩／アムステルダムの水夫 アボリネール(堀口大学)／人間と蛇 ビアス(西川正身)／親切な恋人 A・アレー(山田稔)／頭蓋骨に描かれた絵 ボンテンペルリ(下位英一)／仇討三態 菊池寛／湖畔 久生十蘭／砂男 ホフマン(種村季弘)／雪たたき 幸田露伴

*解説 物語について

森毅

6 恐ろしい話

「出エジプト記」より 文語訳「旧約聖書」／詩人のナブキンアボリネール(堀口大学)／バッソンピエール元帥の回想記から ホフマンスター(大山定二)／蝇 ピランデルロ(山口清)／爪 アイリッシュ(阿部主計)／信号手ディケンズ(小池滋)／「お前が犯人だ」ボー(丸谷才二)／盗賊の花むこ グリム(池内紀)／ロカルノの女乞食夫)／竈の中の顔 田中貢太郎／剣を鍛える話 魯迅(竹内好)／断頭台の秘密 ヴィリエ・ド・リラダン(渡辺一夫)／剃刀 志賀直哉／三浦右衛門の最後 菊池寛／利根の渡 岡本綺堂／死後の恋 夢野久作／網膜脈視症木々高太郎／罪のあがない サキ(中西秀男)／ひもモーパッサン(杉捷夫)／マウントドレイゴ卿の死 モーム(田中西一郎)／ごくつぶし ミルボー(河野好蔵)／ひかりごけ 武田泰淳 ほか

*解説 なぜ怖がりたがるのか? 池内紀

7 悪いやつの物語

囁語 山村暮鳥／昼日中 老賊譚 森銃三／鼠小僧次郎吉 芥川龍之介／女賊お君 長谷川伸／金庫破りと放火犯の話 チヤベック(栗栖継)／盗まれた白象 マーク・トウェイン(龍口直太郎)／夏の愉しみ A・アレー(山田稔)／コーラス・ガール チェーホフ(米川正夫訳・編)／異本「アメリカの悲劇」 J・コリア(中西秀男)／二壇のソース ダンセイ(宇野利泰)／酒樽 モーパッサン(杉捷夫)／殺し屋 ヘミングウェイ(鮎川信夫)／中世に於ける一殺人常習者の遺せる哲學的日記の抜萃 三島由紀夫／光る道 檜一雄／桜の森の満開の下 坂口安吾／女強盗 菊池寛／ナイチンゲールとばら ワイルド(守屋陽一)／カチカチ山 太宰治／手紙 モーム(田中西二郎)／或る調書の一節 谷崎潤一郎／停車場で 小泉八雲(平井呈一)

*解説 文学強盗の最後の仕事 井上ひさし

8 忘けものの話

蟬 堀口大学／警官と讃美歌 O・ヘンリー(大津栄一郎)／正直な泥棒 ドストエフスキイ(小沼文彦)／孔乙己 魯迅(竹内好)／ジユール叔叔 モーパッサン(青柳瑞穂)／チョーカイさん モルナール(徳永康元)／ビドウエル氏の私生活 サーバー(鳴海四郎)／リップ・ヴァン・ウインクル W・アーヴィング(斎藤光)／スカブランの話 上野英信／懶惰の賦 ケッセル(堀口大学)／ものぐさ病 P・モーラン(堀口大学)／不精の代参 桂米朝演／貧乏 幸田露伴／変装狂 金子光晴／帮間 谷崎潤一郎／井月 石川淳／よじょう 山本周五郎／懶惰の歌留多 太宰治／ぐうたら戦記 坂口安吾／大凶の籤 武田麟太郎／坐っている 富士正晴／屋根裏の法学者 宇野浩二／老妓抄 岡本かの子 雲(平井呈一)

*解説 忘情について

森毅

9 賭けとの人生

ミラボ一橋 アボリネール(堀口大学)／立札 豊島与志雄／名人伝 中島敦／幻談 幸田露伴／Kの昇天 梶井基次郎／月の距離 カルヴィーノ(米川良夫)／山彦 マーク・トウェイン(龍口直太郎)／アラビア人占星術師のはなし W・アーヴィング(江間章子)／山本五郎左衛門只今退散仕る 稲垣足穂／榎物語 永井荷風／ひよつとこ 芥川龍之介／わたし舟 斎藤緑雨／にごりえ 樋口一葉／わら椅子直しの女 モーパッサン(杉捷夫)／ある女の日記 小泉八雲(平井呈一)／イグアナノドンの唄中谷宇吉郎／村芝居 魯迅(竹内好)／羽鳥千尋 森鷗外赤西鷗太／志賀直哉／唐薯武士 海音寺潮五郎／鶴長谷川四郎

*解説 「空想犯」の顛末と弁明 井上ひさし

()内は訳者 安野光雅